

令和7年6月吉日

株式会社丸金商会
代表取締役社長 竹内裕二

新アリーナ・豊橋公園整備事業を応援する会 会長就任について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、「新アリーナ・豊橋公園整備事業を応援する会」の会長に就任することと相成りました。昭和22年の創業以来、政治とは距離を置き、政治家も利用せずに事業を営んで来た弊社が、なぜ今回この様な会の職についたのかについてご説明致します。

まず、個人の想いとしましては、数年前から感じる豊橋市民の「分断」の雰囲気何とかしたく、特に昨秋の豊橋市長選から続く、新アリーナ建設への「賛成派」「反対派」と称して激しく対立し、誹謗中傷や行き過ぎた批評批判に心を痛めておりました。いつかこの分断を少しでも雪解けの方向に進めていきたいと強く想っており、この住民投票のプロセスや結果を通じて、ノーサイドの精神で今後の豊橋の街づくりや活性化を願っております。

次に、新アリーナ建設を含めた豊橋公園整備事業につきましては、人口減少が加速化する豊橋を含めた東三河エリアにおいて必要不可欠な事業であるとの考えです。この先、定住人口（居住人口）を増やすことが難しい時代にとって、交流人口を増やすことこそが様々な面でプラスの影響をもたらし、老若男女問わず公園として集える場であり、スポーツを通じた健康増進や青少年育成、プロスポーツや音楽イベント等によるエンターテイメントに触れる機会が増え、市民の生活が豊かになると考えます。また、県外市外からの来客が増えれば、宿泊施設や飲食・サービス事業等の経済活動への好影響も期待されます。

また、国や県からの補助金を受けての事業であることから考えても、公共性の高い事業であることは明らかであり、新アリーナだけが議論の対象になっていますが、豊橋公園整備全体を未来志向で考えてみる必要があります。国と県、東三河や広域連合、民間企業や個人がそれぞれ協力し、希望ある未来を切り拓いていきましょう。

結びに、弊社の企業理念は事業活動を通して「地域に笑顔を！」お届けすることです。この新アリーナ建設を含めた豊橋公園整備事業も、老若男女問わず今の世代も子や孫の世代にとっても「笑顔」をもたらすことに繋がるものと信じております。賛成・反対問わず、今一度フラットなスタンスで様々な視点で考え、住民投票に行っていただくことを切に願います。

敬具